

かりば

4 月

第189号



島牧小学校卒業式

— 3月20日 —

一般質問

- ◆ 村有林を活用した村の財源確保について
- ◆ 会計年度任用職員の正職員採用について
- ◆ 原子力発電で発生する高レベル放射性廃棄物について
- ◆ 地域公共交通活性化協議会について
- ◆ 停電時の対応等について
- ◆ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

主な内容

第1回村議会定例会

行政報告	2-4
審議した議案	4-5
一般質問	6-15

第1回村議会臨時会 15

予算特別委員会 16-19

2025年 第1回

3月5日

定例会

新年度予算を審議する第1回村議会定例会は3月5日招集され、会期を3月13日までの9日間と決めた後、議長の諸般報告、村長の行政報告に引き続き、村長の村政執行方針と教育長の教育行政執行方針が述べられたほか、島牧村職員の育児休業等に関する条例の一部改正など議案10件、発議1件を審議、可決し、新年度の各会計予算など7件は、予算特別委員会を設置して審査を付託し、3月11日まで休会としました。

再開日の3月12日は、3名の議員が村政に対する一般質問を行い、引き続き予算特別委員会を再開し、審査した結果、予算特別委員会の審査を踏まえ、いずれも原案を可決すべきものと決定しました。

その後に再開した本会議で、佐藤清司予算特別委員長から審査結果が報告され、いずれも原案のとおり可決しました。

そのほか、令和6年度一般会計補正予算（第10号）など議案4件、意見案1件を原案のとおり可決、閉会中の継続調査を決定、会期を1日残し閉会しました。



▲ 新年度教育行政執行方針を述べる小野寺教育長



▲ 新年度村政執行方針を述べる夏井村長

令和7年1月から準備段階として「おためし地域おこし協力隊」として協力隊候補者に村を訪れてもらい、着任後のイメージをより具体化してもらうための取り組みを実施しており、これまでに8名の候補者が実際に村を訪れ、村内施設などを見学しております。

そのうち1名の方と2月中旬に面接を実施し、適任であると判断したことから採用を決定しており、今月9日にも残りの応募者の面接を実施することといたしております。

なお、採用が確定した協力

地域おこし協力隊事業

夏井 一充 村長 行政報告

隊員へは4月1日付で委嘱状を交付し、合わせて勤務先である道の駅での業務を開始し、4月の第2週から事業構想大学院大学の授業も受講開始となります。

島牧診療所の診療体制

来年度の診療体制は、森医師1名体制での診療を予定しており、森医師の診療日以外には休診日とする予定です。なお現在、地域医療連携を寿都診療所と更に進めることで、寿都診療所より医師派遣を行える体制を整えていくために協議を行っております。

今後、持続可能な診療体制を構築するために、根本的な診療体制の見直しを行ってまいります。村民の皆様にはご不便をお掛けいたしますがご理解をお願いいたします。

令和7年3月からの有害鳥獣捕獲出動単価

令和7年2月14日に3月から適用する公共工事設計労務単価が公表され、土木一般世話役単価が2万7,800円となり900円の増額となりました。

このため、島牧村有害鳥獣捕獲出動報奨金交付条例第5条に基づき令和7年3月からの1時間当たりの出動単価はヒグマの場合3,400円、ヒグマ緊急出動の場合5,200円、ヒグマ以外の場合1,900円となりますのでご報告いたします。

村道等の除排雪

令和6年11月11日、第1工区を有有限会社後藤運輸と除雪予定時間300時間、委託金額950万4千円、第2工区を島牧開発株式会社と除排雪予定時間1,320時間、委託金額3千3,040万1,500円、今年度より栄浜地区を第3工区として、島牧開発株式会社と除雪予定時間80時間、委託金額246万4千円で契約を締結し履行しております。

2月25日現在の執行率は、第1工区79.6%、第2工区95.2%、第3工区73.1%となっており、今後の見込みにつきましては、第1工区及び第3工区につきましては、現契約内で履行できると見込んでおりますが、第2工区に

つきましては、契約残額が159万7,752円、執行率95.2%であり、今後の降雪及び残雪整理等により、委託料に不足が予想されますことから、業務時間560時間、業務委託料11,064千円を追加する専決処分を2月27日付で行い、住民生活に支障をきたさぬよう、履行しておりますので、よろしくご理解の程お願いいたします。

参考でございますが、2月25日現在、過去3年間で比較すると、累積の降雪量で10センチ増の392cm、積雪深で30センチ増の98cmとなっております。

令和7年度後志広域連合の運営

後志広域連合議会第1回定例会が、2月27日に開催され、新年度に向けた行政執行方針のもとに、一般会計予算及び2件の特別会計予算が可決されております。

令和7年度各会計の歳入歳出の総額は一般会計については、2億395万7千円で、前年度比較44万6千円の増、国民健康保険事業特別会計については、

69億4,209万3千円で、1億87万8千円の減、介護保険事業特別会計については、64億3,283万円で、2億595万9千円の増となっており、各会計歳入歳出予算の合計額は、135億7,888万円で、1億552万7千円の増であります。

後志広域連合では、第4次広域計画に基づき、関係町村と連携し圏域の将来を見据えた広域行政を行い、将来にわたって安心して住み続けることが出来ることを目指しており、本村も積極的に参画してまいりますのでご理解を賜りたいと存じます。

令和6年分漁業水揚げ

本村における令和6年1月から12月までの水揚げ量は、3,161トンで、前年より1,193トンの増、水揚げ金額においては、9億100万円で、2億2,300万円の増でありました。増の主な要因につきましては、タラ、スケソウ、ホッケ、フグ、エビ、ウニなどにおいて数量や金額の増があったこ

とによるものです。一方で主要魚種である、サケ・マスの漁獲が前年を更に大きく下回ったこと、及び小女子漁が引き続き皆無であったことも合わせてお知らせいたしますとともに、引き続きサケ・マス等の稚魚放流事業を継続し漁業資源の回復に努めてまいります。

代替バス運行状況

ニセコバスの日祝運休による代替バスの運行につきましては平成29年12月から運行を開始しておりますが、令和6年度の2月24日までの運行日数は63日間で、延べ乗車人数は栄浜・寿都間（下り）が447人、1日平均乗車人数は7.1人となっており、寿都・栄浜間（上り）が448人、1日平均乗車人数は7.1人となっております。

なお、4月からはニセコバスが土曜日にも運休となることから、1日3往復に減便し土・日・祝日において代替えバスを運行してまいりますのでご理解をお願いいたします。

狩場山CATスキーツアー事業の運営状況

今シーズンは12月中より山での積雪に恵まれたことから1月7日より事業を開始しております。

2月28日までの実施状況ですが、ツアー実施が51日間、ツアー客390人・スタッフ関係者224人、総動員数は614人です。ツアーは、この後3月上旬まで実施する予定としております。

土地の寄附

昨年9月1日、兵庫県在住の西畑くみ様ほか4名の方より、字江ノ島536番6ほか2筆、計1万258平方メートルの寄附採納願があり、12月26日付けで所有権移転登記が終了いたしました。また12月23日、札幌市在住の小田島嘉一様より字大平61番2ほか11筆、計1万3,399.38平方メートルの寄附採納願があり1月20日付け所有権移転登記が完了しましたので、ご報告いたします。

企業版ふるさと納税による寄附

地域再生法第13条の2に規定する、島牧村まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附として、去る2月17日、札幌市に本社のあるホクレン農業協同組合連合会様より、企業版ふるさと納税として100万円のご寄附をいただきました。島牧村の地域再生のため、有効活用させていただきますとともに、深く感謝を申し上げます。

審議した

議案

新年度予算

- ▼財政調整基金の一部処分
- ▼一般会計予算
- ▼国民健康保険事業特別会計予算
- ▼後期高齢者医療特別会計算
- ▼国民健康保険診療所特別会計

- ▼簡易水道事業会計予算
- ▼合併処理浄化槽事業会計予算

これらの議案は、全議員構成による予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定。

条例改正

- ▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律に準じた、関係条文の整理等するため本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村行政不服審査関係手数料条例の一部改正

引用している法律名が変更となったことに伴い、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村職員の分限についての手続及び効果に関する条例の一部改正

刑法等の一部を改正する法律により懲役及び禁錮が廃止となり、拘禁刑が創設されることに伴い、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正（発議）

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律に準じた、関係条文を整理するため本条例の一部を改正及び、刑法等の一部を改正する法律により懲役及び禁錮が廃止となり、拘禁刑が創設されることに伴い、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼投票管理者等の報酬額並びに支給方法に関する条例の一部改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律による執行経費に準じた報酬額とするため、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村議会議員及び島牧村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令による公営単価に準じた単価額とするため、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村議会議員及び島牧村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令による公営単価に準じた単価額とするため、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

- ▼島牧村国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の算定における資産割額の廃止及び税率の改定に伴い、本条例の一部を改正。

◎全員賛成で原案可決

専決処分

- ▼専決処分の承認（6年度一般会計補正予算（第9号））

歳入・歳出ともに1106万4千円を追加し、予算総額を27億6034万円とする。

歳入

- ・財政調整基金繰入金

1106万4千円追加

歳出

- ・村道等除排雪業務委託料

1106万4千円追加

◎全員賛成で承認

その他

- ▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

元町辺地の公共的施設の総合整備を図るため、本計画の一部を変更することについて、

道との協議が終了したため、規定により議会の議決を求めるもの。

◎全員賛成で原案可決

3月12日
審議議案

補正予算

▼6年度一般会計補正予算
(第10号)

歳入・歳出ともに244万3千円を減額し、予算総額を27億5789万7千円とする。

歳入の主なもの

・普通交付税

3248万2千円追加

・障害者自立支援給付費国庫負担金

103万6千円追加

・財政調整基金繰入金

3061万2千円減額

・医療健診等収入

500万円減額

歳出の主なもの

・国民健康保険事業特別会計

繰出金

164万3千円減額

・介護・訓練等給付費

666万7千円追加

・医薬材料費

900万円減額

・医科業務委託料

500万円減額

・財政融資資金償還金

755万8千円追加

◎全員賛成で原案可決

▼6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出ともに356万7千円を減額し、予算総額を6060万4千円とする。

歳入の主なもの

・医療給付費分現年課税

349万4千円減額

・後期高齢者支援金分現年課税

112万1千円減額

・職員給与費等繰入金

151万1千円減額

・後志広域連合分賦金精算還付金

343万6千円追加

歳出の主なもの

・後志広域連合負担金

283万3千円減額

◎全員賛成で原案可決

▼6年度簡易水道事業会計補

正予算(第2号)

収益的収入

・他会計補助金ほか

1095万8千円追加

収益的支出

・一般職給料ほか

173万9千円減額

資本的収入

・簡易水道事業債ほか

9716万6千円減額

資本的支出

・江ノ島・豊平地区配水管布設替工事ほか

9623万4千円減額

◎全員賛成で原案可決

▼6年度合併処理浄化槽事業会計補正予算(第2号)

収益的収入

・他会計補助金ほか

888万3千円追加

収益的支出

・一般職給料ほか

610万3千円減額

資本的収入

・合併処理浄化槽事業下水道事業債ほか

1398万7千円減額

資本的支出

・新設改良工事請負費ほか

634万9千円減額

◎全員賛成で原案可決

意見書

その他

▼刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

提出者

議会運営委員長 佐藤清司

◎全員賛成で原案可決

▼閉会中の継続調査

議会運営委員会の所管事務調査について、閉会中の継続調査とするもの。

◎決定



一般質問

村有林を活用した村の財源確保について



坂下初雄 議員

問

森林で吸収した二酸化炭素を算出し、J-クレジットとして売却している自治体がありますが、島牧村においても広大な森林面積を有しており、財源確保に向け、このような取り組みが重要と考えますが、村としての考えを伺います。

夏井一充 村長

J-クレジットの売却による財源確保の取り組みについてのご質問ですが、当村は約3,000ヘクタールの広大な村有林を所有しており、現在複数の事業者と、二酸化炭素の吸収量やクレジットの売

却益、合わせてそれに係る経費などの試算を行っております。

管内自治体において、カーボンニュートラルの取り組みの一環としてJ-クレジットの取り組みが行われているところですが、本村においても試算結果が出次第、財政的メ

第1回村議会定例会での一般質問の内容と理事者側の回答をご紹介します。
今回の質問者は3名で、その全文を掲載しました。

坂下初雄 議員

- ◆ 村有林を活用した村の財源確保について
- ◆ 会計年度任用職員の正職員採用について

佐藤清司 議員

- ◆ 原子力発電で発生する高レベル放射性廃棄物について

藤田和康 議員

- ◆ 地域公共交通活性化協議会について
- ◆ 停電時の対応等について
- ◆ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

リットを勘案し、事業を取り進めることとしておりますのでご理解願います。

坂下初雄 議員

先ほど村長も説明したとおり、3,000ヘクタールの森林を維持管理もできない状況でございますので、それを

もし出来得るならば財源を利用しながら、作業道あるいは林道の手入れ、悪木の伐採、

財源確保に頑張っていたきたいと思えます。

老木の間引きとかそういう部分で、若い木のほうが二酸化炭素吸収率が非常に多いというところがございますので、是非このことにつきましては村を挙げて一生懸命取り組んで、

会計年度任用職員の正職員採用について

坂下初雄 議員

問

村では会計年度任用職員を43名採用していますが、正職員と同じ仕事内容にも関わらず、会計年度任用職員として働いている人がいます。

村では近年、社会人枠で中途採用していますが、その前に専門性の高い職員同様に、会計年度任用職員として長年勤務する方を正職員にするのが妥当だと思いますが、村長の見解を伺います。

夏井一充 村長

長年勤めている会計年度任用職員を正職員にしないのか、とのこと質問ですが、まず会計年度任用職員について、概要を申し上げます。

会計年度任用職員は、一会計年度に限り任用される非常勤職員で、職務内容につきましては、正職員と同じように見える部署もあるかもしれませんが、基本的には定型的な事務をすることや責任度合などの面で正職員とは異なっております。

また、次の年度に任用されることはありませんが、制度的には継続ではなく、次の年度の新規任用となります。その新規任用が繰り返され、実質的に長年勤務している職員もおりますが、そのことによつて正職員となることはありません。

ご質問にもありましたように社会人経験者の採用を近年行っておりますが、会計年度任用職員が仮に正職員を希望した場合には、そのときどきの受験要件にもありますが、受験は可能となっております。

任用の公平性を確保するため、会計年度任用職員を優先することはありませんので、ご理解をお願いいたします。

また、正職員については、ご存じのとおり職員の定数が定められていることから、退職者の補充等、計画的に進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

なお、昨年保育士を採用したときは、募集に対して会計年度任用職員が応募し、選考を経て採用していることを申し添えます。

坂下初雄 議員

私はやはり議員として、いろいろ職員に出来ないという部分は理解できませんけれども、職員が正規職員と同じ仕事をし、そしてそれを長年任用職員でいるというところについては、私、議員として行政を見る我々としてはこれはやはり見逃している、長年見逃してきたんですけれども、これから私はずっと気にしてたんですが、これはやはり我々は見逃しておくわけにはいかない。是非これは年次計画でも、こういう人たちを職員として拾い上げるということが村長、必要じゃないですかね。やはりこれは真剣に考えていただきたいと思います。

我々、頭が悪いなりに一生懸命一般質問するわけですから、それに応えるような答弁というか、可能性を秘めた返答が一つ必要ではないかと思うんですよ。やはり村長ですから、一般質問に対する回答、これを部長ばかりに任せないで、本人の心からしっかりと我々に対する答弁、身になる答弁をよろしく願いたいのと思います。

是非、任用職員については今後、正職員に近い職員については年次計画でもいいから職員にしていた方が私はいと思います。それをお願いして私の一般質問を終わります。



原子力発電で発生する高レベル放射性廃棄物について



佐藤清司 議員

問

本年1月14日、ふれあい交流センター「おあしす」において、原子力発電環境整備機構の説明会があり、村民の関心も高く60名ほどの参加がありました。

島牧村議会では令和2年第4回定例会で、「島牧村に放射性物質等を持ち込ませない条例」を可決しました。

寿都町、神恵内村は文献調査から概要調査に移行する段階に進むようですが、村長の考えを伺います。

夏井一充 村長

近隣町村で調査されている地層処分への私の考えという質問ですが、まず概要調査へ移行する判断可否は、都道府県知事と市町村長の意見を聴き、これを十分尊重することと法令上、特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律第四条第五項で国が定めております。そのため、知事、文献調査対象町村の首長の同意が得られれば次の段階にある調査へ進むということで認識しております。このことから知事、首長それぞれの同意が行われなければ次の調査段階

佐藤清司 議員

へ進まないと考えております。また、そのわたくし自身の判断可否について、ほかの町村の政策に対して賛成・反対を述べる立場ではないと考えております。ですが、近隣町村での出来事であるため、これから様々な情報収集を行いながら状況を注視していかなければならないと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

うやく寿都、神恵内等の候補地が手を挙げたわけです。

国としては簡単に交付金の20億をもつてもなんだかんだ引っ張っていくような感じが見受けられるんですよ。と言うのは、寿都の南側の確認されている活断層は、町内に跨っているようで、調査では十分に確認できないから候補地として除外しないで概要調査に進むとはつきり言っているんですよ。

先ほど村長も知事とかの北海道の条例もあるし、認可がなかったら進まないと言ってますけど、もしこの現在の鈴木知事が交代になって、新し

い知事が核のゴミの推進派のような考えで進むような方向だつてありうるわけですよ。もしそうなったとき、やはり島牧村は隣ですから、ましてや資料見たら寿都町のそっちの方までせたな層とか入って

て、島牧村の近い所にできる状況も考えられるわけです。よ。いわゆる核のゴミは人体に有害な放射能なわけですよ。10年以上も放射能を出す物質であつて地震や火山活動でなく、今日の新聞に出てましたけど日本海で大津波があつたら1分、2分で当然島牧村は全滅ですよ。そんないろんな昨今起きないような大災

害もあるなかで、島牧の住民もいろんな考えの人がいると思いますけど、やはり無いに越したことはなくて、寿都町も今は大分静かになりましたけど、町内でやはり考え方が分かれてギクシャクして反対派・賛成派で随分騒いでましたけど、地域住民の同意を得るということは大変なことで、今一度やはり夏井村長が核のゴミの問題についてどのよう

夏井一充 村長

私自身の考えとしては、先ほども答弁したとおり、隣の判断可否についてはコメントする立場にないというのは間違いないかと思えます。

ただ、隣の出来事です。しかし、隣の情報が正しい、正しくないはあると思います。その情報をしっかりと収集して、精査して村民にとって何が一番いいのかとい

うのを判断しながら状況を注視していかなければいけないというのは間違いないと思っております。

その判断を今すぐ、例えば賛成なのか反対なのかという立場で表明してくれということではないのかと思っております。

しっかりと現段階の状況を精査して、村民に不利益が被らないような形で判断していかなければならないということ

ところで今のところ考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

佐藤清司 議員

国はNUMOの組織などで幌延町や六ヶ所村の自由見学を推し進められて、当村でも一般村民の人は大々的にできないのか何か知りませんが、商工会関係とか役場職員関係の人が中心に視察していると聞いているんです。当然

経費はNUMOが負担して。

確かに勉強で反対・賛成関係なく行くことはいいんですけれど、寿都の隣の島牧は、国は次にもし神恵内・寿都が駄目だったら当然、手を打ってくると思います。

そういう意味でも寿都町長も申されてるとおり、自治体の手を上げる方式は負担が大きいので、国の責任で調査地点を挙げるとなったら、北海道は日本の国土の2割の土地

があるんですから、当然やはり島牧村だって該当にくる可能性があるわけです。その辺で村長としてただ隣の状況を見ているだけでなく、いろんな意味で住民の事を守らなければならないわけだ、我々も。

そういうことで踏み込んだ考えでこの核のゴミに関しては進んでほしいと思います。

地域公共交通活性化協議会について

問



藤田和康 議員

令和3年8月に発足し、島牧村独自の公共交通体系の構築を目的として令和4年3月に令和4年度から令和8年度までの公共交通計画が策定され、島牧村の公共交通の課題解決に向けた7つの具体的施策が掲げられております。

しかし、これまでの協議会の活動内容を拝見すると、バスの乗車の仕方や一部住民への意見交換会の開催のみで、殆どがハイヤーチケットの交付事業とアンケート調査で、協議会の開催も春先に1回、それも書面会議になっており、施策の殆どが未実施で、何を指している協議会なのか大変疑問があります。

本年4月から二セコバスが土曜日も運休になるなど、公共交通施策の抜本的見直しが急務となっている中、協議会のこのような状況について村長はどの様に考えておられるのか伺います。

また、ハイヤーチケット交付事業について、寿都診療所受診等に変有効な手段となることから、寿都町の業者の参入について再三質問しておりますが、何が支障になっているのか、これについても伺います。

夏井一充 村長

島牧村地域公共交通活性化協議会の活動内容が不明瞭であるという主旨の質問かと思えます。

同協議会は、国の地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会であり、当村の公共交通に関わる事項全般について協議を行うための機関です。

直近では、令和7年2月20日に会場参加及びオンライン参加の両方を取り入れたハイブリット方式での会議を実施しております。

内容としては、島牧村公共交通計画における推進状況の報告や、有効期限が今年度末となっている自家用有償運送、交通空白輸送の更新に必要な承認作業や、ニセコバスの土曜運休に係る協議などを行っております。

また、協議会では、地域公共交通の専門家への業務委託により、助言を得ながら村の将来的な公共交通の在り方についても模索しているところでありますので、そのような実態を踏まえた上で本協議会はいっしょに機能しているという認識を持っています。

寿都診療所の受診に活用するため、寿都町のハイヤー

業者にもチケットを使えるようにしてはどうかとのこと意見ですが、協議会の最大の目的は、地域の交通資産を最大限活用した公共交通の維持であり、それらによる経済の地域循環を進めるものであることから、ハイヤーチケットの村外事業者の参入は検討しておりませんが、現在、島牧診療所と寿都診療所の医療連携に関する協議を行っているところであり、併せて患者の移動に関する有効な手段について検討しているところですのでご理解願います。

藤田和康 議員

まず協議会が機能しているみたいなことを言っていました、最近そのようなことをオンラインで会議したって、3年ぐらい書面会議ばかりだったんですけども、私は全然機能していないと思います。協議会が発足した当時、村民の方もそうですけど、デマンド交通とか、新たな公共交通の導入を多くの人がそういうものができるんじゃないかと、そういう思いだったんで

すよね。

実際やると年間200万円ほど払ってほとんど協議会の運営事務とハイヤーのチケット関連事務で法定協議会の体をなしていない状態なんです。

これ何年までやらなければならぬのか、その辺も伺いたいと思いますのでよろしくお願います。

あと村長は、ハイヤーチケットの交付事業は村内の経済対策みたいな言い方もしてましたけれども、そんなことやったら誰のための、誰が有効に活用するための事業かちよっと事業の中身が薄れてるんじゃないんですか。

ハイヤーチケットの交付事業も対象者は65歳以上で自動車運転免許の交付を受けていない方、自動車を所有、使用していない方、身障・精神の障害者で18歳以上64歳以下の方となっております、世帯に運転免許、車を所有してる方がいるにも関わらず、交付対象となっており、いつ交付申請しても6万円で同じ金額。利用状況も5割程度。

いくら対象者や交付金額を増やしても稼働できるハイヤーが1台で利用できる人員

が限られている中、一旦立ち止まって、真に困っている人の利用を助けてやるような施策を練り直したほうがいいと思うんです。

私は交付対象者を絞ったら7割、8割いくと思うんでその辺どう考えていますか。

夏井一充 村長

地域公共交通活性化協議会、いつまでやるというお話まず一点目の質問ですが、まずは令和4年から令和8年度までの計画策定されました期間しっかりと実施して、また次の計画策定機関に向けて挑んでいくというところでこの会がびしっと終わりますよというのは今のところ私も想定しておりません。しっかりと地域の公共交通、ニセコバスの減便等も含めて、地域の足が少なくともなっている中で、本当に地域の足をどうしていくかなければいけないということとを考えるものがこの協議会になっていると考えておりますので、計画をしっかりと練ってそれに挑んでいくということとここでこの協議会の期間というのは私いつ終わるといっているのはその想定は今のところして

おりません。

続きましてハイヤーチケット、経済対策みたいな話してるんじゃないかと。私の考えですけどもあくまで村の資源を活用していくと、これはまず間違いないと。地域の足を活かしていくとなれば、もちろんニセコバスも村内走ってます。他には患者バス、有償運送、社会福祉協議会等々交通機関、村で提供しているものもあります、これを例えば寿都町が実施している事業者例えば村のお金を渡して実施してもらうと、もちろん利用者の利便性向上というところでは検討する余地はあるかなと思っておりますが、村の事業者がなくなることによって、村内の経済というのはどんどん冷えていくのは間違いないと思います。だからこそ決して業者保護というわけではないです。村の経済をしっかりと回したうえで村に入ってくる例えばいろいろな人でありお金であり、そういうものが入ってくるようになれば、村でも回しきれないとなれば外の業者例えば寿都町の業者にそういう範囲を広げるというのは考

えていけるかなというところではと思っております。

ただ現状ではこの事業が発足して2年近くになりますが、これがすべて正しいかと言われればおそらくそういう状況、藤田議員がおっしゃるようなうちよつと検討する余地はあるんじゃないかというところはございますので、その辺も含めてまだまだ検討段階の状況なのかなと思っております。あとは利用の対象者でしたか。

藤田和康 議員

今の交付対象者を絞って、本来に利用できるような人に、要するに早い者勝ちでやってみるような状況なんで、その辺交付対象者を絞った方がいいんじゃないですかと。

夏井一充 村長

今は交付対象者は65歳以上、先ほどおっしゃっていただいたとおり家庭世帯で括っているわけではなくて、世帯でお父さんが車を持っていてお母さんが免許ない中でも申請対象なっているという状況のことをお話されているのかなとは考えております。

確かにそういう状況の中で外出の機会という面で含めれば家庭内に車がある人、また車が無い人同じように車乗りたいよと、ハイヤー利用した時に確かに早い者勝ちという予定の中で、抑えられたら使えないという状況はできてくるのはそこはあるのかと思います。

ただ、ハイヤーチケットを利用するということはそれだけ自分にとって、もちろんハイヤーチケット以外に公共交通、バスもありますし、本数は少ないですけども、そういう状況の中でハイヤーを利用するということは家庭内でどうしてもそれを使わなきゃいけない事情があるのかなと。そういう事情に考慮して、もちろん外出の機会を生むというもののほかに、広く皆さんにそういうのを活用していただいて、一番いいのは村内で活用してもらって地域の中で経済が循環するという状況を作らないといけないというのは間違いですが、ただそうすると利用者を限定してしまうと、どうしてもあの人ばかりこの人ばかりという状況になってくるのかという

もあり得ます。

また、65歳以上の方に限定している理由としては、どうしても運転するのが怖いとかそういう人もでてくる中で、島牧のような地域で免許を返納するというのはなかなか難しい状況もございます。

ただ、外出の足、これがしつかりと提供されていることによって地域の公共交通、地域の経済循環というのでも推し進める一因になるかと思っておりますので、現在の対象人数というところで検討して進めさせていただいておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

藤田和康 議員

答弁している内容、村長自体この事業の中身をあまり把握していないんじゃないかと思うんですけども、村外の寿都の事業者が参入して島牧の今1台しか稼働してないんですけども、寿都の業者が参入しても別に島牧の業者の収入が減るわけではないし、利用者が多く利用できるようになるだけで寿都の例えば患者待っている間、それがなくなるんだかえってまた違う人が乗れる

ようになるし、広く皆に利用してもらって良いと思いますけども。1台しかないハイヤーに、広く交付対象者がいるのにそれをどうやって広く行き渡るようにできますか。5年度の実績を見ても5割ちよつとなんですよ。

そういう状況もちゃんと把握

握して、もう一回見直したほうがいいと思いますし、法定協議会もずっとやるって言ってますけども、もう一回、本来の法定協議会の目的に沿った事業実施をすべきだと思います。要望して次の質問に移ります。



停電時の対応等について

藤田和康 議員

問

昨年12月27日の停電は、午後7時頃の永豊・泊地区の一部約30戸弱の停電に端を発し、復旧作業のため午後10時永豊から西地区の全戸が停電となり、復旧は停電から約5時間後の午後11時38分頃と、非常に長時間の停電となりました。

停電の発生から約3時間後に本格的な復旧作業が始まる等、初期対応の遅れが長時間の停電となった原因とも考えられますので、対応の改善を含めて次の点について質問します。

停電の原因と復旧までの経過について、簡潔にお願いします。

二点目、通常、村と北電はどのような方法で停電を把握するのか、また、昨年の12月27日の停電はどの様に把握されたのか。

三点目、何名の方で対応されたのか。
以上、三点についてお願いします。

夏井一充 村長

昨年12月27日の停電につきましては、吹雪による悪天候で永豊地区の電線が断線したことが原因である、との報告が北電よりなされております。経過につきましては、簡潔に申し上げますと、ご質問で

の発言のとおりとなっております。

停電の発生から約3時間後に本格的な復旧作業が始まった原因については、北電による初期の復旧作業が悪天候によりなかなか進まなかったものと聞いております。
次に村が停電を把握する方

法についてですが、通常は北電より停電している旨の電話連絡があります。

また、スマートフォンアプリのLINEによる通知でも確認することができます。

この日については、北電からの連絡、及びLINEでの通知もなく、停電地区に住む

職員が登庁し、その時刻に在庁していた総務課長が停電の事実を確認したところです。

総務課長は内容確認のため、北電への電話を試みましたが、

当日は北電の年内最後の勤務日で、勤務時間終了後であったことも影響してか、寿都、岩内、小樽の各社にかけても

繋がらず、断続的に電話を続け、午後8時過ぎになってようやく電話が繋がり、停電の範囲等内容を確認できたところでした。

職員の対応につきましては、冬季間ではありましたが、就寝時刻に近いこともあり、避難所等の開設は行わないこととしたため、職員の招集は行わず、在庁していた総務課長と自主的に登庁した議会事務局長の2名で電話応対、及びうしお通信等の対応を行いました。

うしお通信での周知は、夜間であり、早い方であれば就寝している時刻と思われたため、当初は文字のみでの周知といたしました。が、住民等からの問い合わせがあったことから、本格的な復旧作業時については、音声での放送としたところです。

北電には停電時の連絡体制について、速やかな情報提供を行うよう申し入れを行っておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

藤田和康 議員

今ちよつと停電の把握についてうんですか、北電から停電

ですよと来るみたいな発言だったんですけども、それでいいのかどうかその確認と、10時まで停電になってても永豊・泊地区の一部っていうのが10時頃まで北電の停電情報っていうのがあるんですけども、その情報が全く停電になってないんです。

ネットワークサービスに何回電話しても繋がらない、こういう状態がかなり続いたんで復旧作業かなり遅れた原因の一つだと思うんですよ。

我々住民は停電になった場合にとのな方法でどこに通報するのか、それちょっともう一回お願いしたいと思いますし、今回の経験を踏まえ村が、総務課長が北電に何回電話しても繋がらない、そういう対応だったら遅れるのはこれから何回やっても同じなので、村と北電で直通になるような連絡手段が必要だと思いますのでその辺どう考えておられるのか、あと12月27日の停電の状況ですけれども、電線が切断され、ぶら下がって火花が出ており、通行できない状況であったと聞いております。現場の状況把握は必要だと思いますので、停電時の初期

対応は複数人で対応するのが良いと思いますし、このような時の防災対策室の対応というのとはどのような感じなのか、また村長は先ほど、うしお通信での放送は最初無音声の自動送信みたいなのでやっていたと言っていました。が、それについて私にもいろいろ苦情がありましたので、感知も操作もできない人もいるので、最初から音声でお願いしたいという苦情もありますのでその辺もう一回回答お願いします。

夏井一充 村長

まずどこに連絡をすると言うところですが、まず停電が起きた時には、ほくでんネットワークと連絡するところと、もしそこが繋がらないのであれば、藤田議員のおっしゃるとおり村に連絡していただいて、今後、この後に回答させていただきます。実際に直通電話もしっかりと把握して停電の時に早期復旧できるように対応していかなければいけないと思っていますので、その点ご理解いただければと思います。

今回の停電については電線

がぶら下がって火花が出てという状況だったというところで複数人で対応しなければいけないんじゃないかというところでございますが、ご指摘のとおり、今回は災害等ではございませんが、災害等発生した時にしっかりと対応できるように、今後とも訓練等含めて対策していきたいと思っておりますので、その点もご理解いただければと思います。

うしお通信もこういうふう

に災害があったときも無音声

で放送するのは分かりづらい

というご指摘ですが、しっかりとこういう状況回復については音声等でお知らせして皆様のご不安を取り除くような対応をしていければと思っておりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

実際に停電時が災害かどうかという判断については、通常の停電ではいつも北電からの連絡、LINEからの通知が来て、そこから対応するということでございますので、今回その通知がなくて自主的に登庁してきた職員と総務課長が対応したというところで防災対策室等で実際に対応するということがなかったの

藤田和康 議員

すけども、実際に北電から連絡、通知があれば防災対策室も連携しながら対応してまいりたいと思っておりますのでその辺ご理解願います。

して前に移動電源車と言うんですか、その辺の配置だとかやってもらったので、移動電源車の配置だとか、結構北電さん工事やってるように見えますけども、老朽化した電源設備、その辺の改修についても北電に強く要望するようお願いいたします。



物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

藤田和康 議員

問

令和6年12月17日に国の関連補正予算が成立し、本村でも本年2月4日、低所得世帯支援として、住民税非課税世帯へ一世帯3万円、子育て世帯へは子供一人2万円の追加給付される補正予算が可決成立し、3月上旬に交付されております。

本年2月4日の臨時会の答弁では、今後、推奨メニュー分として1千300万円程度が交付予定で、令和7年度に繰越され事業実施されると聞きましたが、どのような事業を考えておられるのか伺います。

夏井一充 村長

先月の臨時会における答弁で、推奨事業メニュー分1千258万2千円については全額繰越を行い、令和7年度に事業実施する旨をお伝えしたところでです。

この財源を活用した事業についてどのように考えているかという趣旨の質問ですが、一つの例として、村としてはプレミアム付商品券発行への支援による、村民向けの物価高騰対策を実施してきているところであり、その事業実施

結果については十分な効果を發揮しているという認識のもとにあります。

また、村内事業者に向けた電気料金の一部補助についても同様の認識であり、村が投じた費用が地域内流通することによる村内経済の維持に対しても有効に機能していると考えます。

財源が乏しい本村としては、国からの交付金をより有効に活用する必要があることから、令和7年度についてもこれらの施策を中心に活用していきたいと考えておりますので、

ご理解のほどよろしくお願いします。

藤田和康 議員

何か今プレミアム付商品券と村内事業者の電気料金の助成関係、これはほとんど既定予算に計上されているので、今までの事業を見てもほとんど、既定予算の財源組み替えをして財源の穴埋めしているような実効性に欠けていると思いますので、物価高で困っているのは非課税世帯ばかりでなく、一般世帯も同じですので、今回の給付金については非課

税世帯で3百何十戸くらいあったんですけども、その残りの一般世帯の給付についてもぜひ検討してほしいと思いますし、非課税世帯と課税世帯の区分は単身の世帯だったら給与収入で93万くらいなんです。そういうすごい低い条件で区分けされてるんで、その辺ぜひ実施するように検討したいと思います。

ししないで事業ができると思うので、その辺ぜひ実施してもらいたいと思います。

あと、小中学校の給食費の無償化について、令和8年度から小学校給食費の無償化が実施される見込みです。交付金事業の推奨メニューにもあるので、前倒しで実施してはどうでしょうか。

ちなみに私、令和7年度の予算書を拝見させてもらったんですが、給食費の保護者負担分、大体去年のベースで500万ほど予算計上になっているんですけども、それって一般財源対応になっているような気がするんですけども、一般財源対応だったら、交付金を充当したら更に500万円浮くような格好になるので、その辺ぜひ前向きに検討してもらいたいと思いますので答弁をお願いします。

夏井一充 村長

財源組み替えによって課税世帯でも給付できるんじゃないかという提案ですが、こちらについてはしっかりと議論しながら、今回、臨時創生交付金で交付頂いた額については、検討していかなければい

1
2025年

臨時会

2
4

けないものだと考えておりますので、その点ご理解願えらばと思います。

また、給食費の無償化ですが、本村では無償化はしておりませんが給食費の据え置きを実際に昨年度から実施してきておりますので、高騰分に対して支援というのは継続して行っておりますので、その辺についても有効活用できるのであれば、検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

令和7年第1回村議会臨時会は、2月4日招集され、「令和6年度島牧村一般会計補正予算（第8号）」を審議、原案どおり可決し、同日閉会しました。

審議した

議案

補正予算

▼6年度一般会計補正予算（第8号）

歳入・歳出ともに5061万7千円を追加し、予算総額を27億4927万6千円とする。

歳入

・物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金
1086万6千円追加



歳出の主なもの

- ・ふるさと納税寄附金 1600万円追加
- ・財政調整基金繰入金 1653万1千円追加
- ・ふるさと応援基金繰入金 722万円追加
- ・職員共済費等 1623万1千円追加
- ・ふるさと納税返礼品 425万円追加
- ・ふるさと納税返礼品配送料 100万円追加
- ・ふるさと納税業務委託料 197万円追加
- ・ふるさと応援基金積立金 1600万円追加
- ・新非課税世帯等給付助成金 998万円追加

◎全員賛成で原案可決



— 3月5日 — 令和7年第1回村議会定例会

令和7年度 一般会計予算

27億1,600万円

前年度対比 3.0%増

予算特別委員会

新年度予算を審議

令和7年度の各会計予算は、3月5日開会の第1回村議会定例会において、全議員で構成する予算特別委員会を設置、これに審査を付託し、3月12日に審議しました。

3月12日に再開した本会議では、佐藤清司予算特別委員長から、予算特別委員会の審議を踏まえ、原案を可決すべき旨の報告があり、採決の結果、各会計とも委員長報告のとおり全会一致で可決しました。

特別会計予算規模

特別会計	国民健康保険事業特別会計	令和7年度	6,850万円
		令和6年度	6,380万円
	後期高齢者医療特別会計	令和7年度	3,160万円
		令和6年度	2,860万円
	国民健康保険診療所特別会計	令和7年度	1億3,890万円
		令和6年度	1億3,890万円

※令和7年度から「国民健康保険診療所特別会計」が新設されました。

公営企業会計予算規模

公営企業会計	簡易水道事業会計	令和7年度	収益的支出	8,936万2千円
			資本的支出	2億0,078万1千円
			計	2億9,014万3千円
		令和6年度	収益的支出	8,239万9千円
			資本的支出	2億1,079万8千円
			計	2億9,319万7千円
	合併処理浄化槽事業会計	令和7年度	収益的支出	6,701万6千円
			資本的支出	5,405万3千円
			計	1億2,106万9千円
		令和6年度	収益的支出	6,867万4千円
			資本的支出	4,339万9千円
			計	1億1,207万3千円

主な事業・一般会計

予算総額 27億1,600万円

総務費

- 地域おこし協力隊事業 3,180万円
事業構想大学院大学との共同事業
- 安全措置対応業務及び個人情報保護事務の運用手引作成 396万円
個人情報の適正な管理体制の構築
文書類の整備、職員研修の委託
- IP告知端末用UPSバッテリー購入 209万円
交換用バッテリーの購入
- 村議会議員選挙 657万円
選挙に係る事務経費
- バス交通確保対策事業 1,277万円
地域生活バス路線確保補助金
- 新規就業者等支援事業支援金 343万円
農林業者等就業者支援金



▲ 地域おこし協力隊の募集

民生費

- **高齢者生活福祉センター居住部門管理委託** 1,383万円
高齢者生活福祉センター居住部門の管理委託
- **小規模多機能型居宅介護施設指定管理** 3,636万円
指定管理料
- **総合福祉医療センター屋上防水更新工事** 255万円
亀裂・劣化のための防水更新工事
- **総合福祉医療センター非常用発電機点検整備事業** 122万円
非常用発電機エンジン部品の交換
- **元気センター事業** 442万円
在宅高齢者を支援し自立生活を支える事業
- **社会福祉協議会運営助成** 2,914万円
運営費助成



▲小規模多機能型居宅介護施設「潮の音」

衛生費

- **季節性インフルエンザワクチン接種費給付** 100万円
季節性インフルエンザワクチン接種費用助成
- **新型コロナウイルスワクチン接種費給付** 239万円
新型コロナウイルスワクチン接種費用助成
- **南部後志環境衛生組合負担金** 2,103万円
南部後志4町村し尿処理施設に係る負担金
- **南部後志衛生施設組合負担金** 3,966万円
南部後志3町村ごみ処理施設に係る負担金
- **倶知安厚生病院整備費用負担金** 112万円
倶知安厚生病院第二期整備事業負担金



▲南後志清掃センター

農林水産業費

- **漁港事業負担金** 1,650万円
厚瀬漁港、千走漁港
- **電気牧柵管理事業** 1,065万円
春季設置・冬季前撤去等業務委託
- **電気料金緊急支援事業（水産）** 94万円
漁協・漁業者へ電気料値上げに伴う支援
- **ナマコ人口種苗放流事業** 150万円
人口種苗購入費用補助
- **トド被害防止対策強化網購入助成事業** 160万円
強化網 1ヵ統分購入助成
- **島牧村さけ・ます増殖事業振興会負担金** 200万円
さけ・ます増殖事業促進
- **森林環境譲与税基金積立金** 150万円



▲千走さけ・ますふ化場

商工費

●環境整備事業	819万円
短期就業機会の創出（草刈・除雪等）	
●商工会運営助成	2,077万円
運営費助成	
●中小企業電気料金支援補助	220万円
商工業者へ電気料値上げに伴う支援	
●中小企業景気対策利子補給	120万円
景気後退による経営悪化に対する中小企業支援策	
●狩場山CATスキーツアー実行委員会運営助成	359万円
●島牧村観光協会助成金	240万円



▲狩場山CATスキーツアー事業

土木費

●村道維持修繕工事	570万円
●島牧村管内橋梁点検	1,897万円
5年毎の近接目視点検（半額国補助）	
●道路台帳整備業務委託	65万円
村道整理に伴う台帳整備	
●村道等除排雪委託	4,737万円
村道3工区等の除排雪	
●河川水門電気設備点検業務委託	288万円
3箇所の水門電気設備点検	



▲ホンベツ川河川水門

消防費

●消防団活動服購入	515万円
経年劣化・基準変化に伴う購入 75名分	
●消防操法訓練大会に係る報酬	265万円
北海道消防操法訓練大会参加に係る報酬	
●後志共同消防指令センター負担金	6,060万円
消防指令業務共同化整備負担金	

教育費

●小学校学習用端末（i P a d）更新	357万円
耐用年数経過・故障増加に伴う更新（道補助金 190万円）	
●中学校学習用端末（i P a d）更新	210万円
耐用年数経過・故障増加に伴う更新（道補助金 112万円）	
●小学校スクールバス購入事業	2,337万円
塩害による老朽のため更新（国補助金 390万円）	
●中学校教師用教科書指導書購入	208万円
児童用教科書改訂に伴う教師用指導書	
●人材育成事業	331万円
小学生国内視察研修、講演会	



▲小学生国内視察研修（本年1月）

主な事業・特別会計

国民健康保険事業特別会計

予算総額 6,850万円

●後志広域連合負担金

4,823万円

後志広域連合は、地方分権時代における国・道から町村への事務権限の移譲並びに多様化した広域行政需要等に適切かつ効率的に対応するため、平成19年、管内16町村で設立。国民健康保険事業、介護保険事業等の広域化・集約化が可能な事務について共同処理を行うための負担金。

後期高齢者医療特別会計

予算総額 3,160万円

●後期高齢者医療広域連合負担金

3,104万円

事務費負担金、保険料等負担金

令和7年度新設の特別会計

国民健康保険診療所特別会計

予算総額 1億3,890万円

●寿都診療所緊急対応業務委託料

1,900万円

●医薬材料費

2,298万円

医薬品・インフルエンザワクチン等材料費

主な事業・公営企業会計

簡易水道事業会計

予算総額 2億9,014万3千円

●水質検査委託料

706万円

村内6箇所の浄水場の原水、浄水を検査

●本目浄水場機械・計装設備点検委託料

396万円

●法適用化負担金

105万円

●配水管布設替工事

1億4,000万円

●給水管接続工事

1,900万円

●水道メーター取替工事

1,493万円

●公用車購入

482万円



合併処理浄化槽事業会計

予算総額 1億2,106万9千円

●浄化槽保守点検業務委託料

1,800万円

●浄化槽汚泥汲取料

654万円

●水洗便所改良等工事資金補助金

408万円

●浄化槽実施設計委託料

338万円

●浄化槽設置工事

2,480万円

浄化槽設置10基の実施設計業務委託料及び設置工事費



1月

- 5日 島牧消防団出初式（中田議長ほか）
- 12日 二十歳のつどい（後藤副議長ほか）
- 16日 例月出納検査

2月

- 4日 第1回村議会臨時会
- 5日 南部後志環境衛生組合議会第1回定例会（黒松内町 佐藤議員）
- 10日 例月出納検査
- 12日 後志町村議会議長会役員会及び定期総会（札幌市 中田議長）
- 26日 議会運営委員会
- 27日 第1回後志広域連合議会定例会（倶知安町 中田議長）
後志町村等監査委員協議会第2回研究協議会（札幌市 坂下議員）
- 28日 北海道町村等監査委員協議会第78回定例大会（札幌市 坂下議員）

3月

- 5日 第1回村議会定例会（1日目）
- 6日 島牧村スポーツ表彰式（中田議長）
- 12日 第1回村議会定例会（2日目）、予算特別委員会
- 14日 例月出納検査
島牧中学校卒業式（中田議長）
- 20日 島牧小学校卒業式（中田議長）
- 23日 後志自動車道仁木IC開通記念式・通り初め・開通を祝う会（仁木町 中田議長）
- 24日 南部後志衛生施設組合議会第1回定例会（寿都町 藤田議員）

後編 集記

■議会広報「かりば189号」をお届けします。
本号では、第1回定例会の審議内容、一般質問の内容を中心に編集しました。
ぜひご覧になって、村の方針や議会活動にご理解を深めていただきたいと思います。



▲ — 3月14日 — 島牧中学校卒業式